

平成28年度近畿計量大会開催報告

一般社団法人大阪府計量協会

近畿計量大会は、近畿6府県の計量関係者が一堂に会し、関係者相互の連携と協調を深めるための情報交換の場として、また、計量業界の地位向上を図ることを目的とした年に1度の重要な行事で、本年度は大阪府計量協会の主催で開催されました。

大会は、平成28年11月18日（金）にシェラトン都ホテル大阪で行われ、経済産業省産業技術環境局計量行政室長の吉岡勝彦様をはじめ多数の御来賓のご臨席をいただき、近畿6府県の各計量団体から298名が出席し、337名の関係者が集いました。

また、今大会では、基本テーマとして「計量制度の未来と計量協会の果たすべき役割」を掲げ、大会宣言を行いました。

式典は、藤田眞弘理事長の主催者挨拶で始まり、来賓の経済産業省産業技術環境局計量行政室長 吉岡勝彦様、大阪府副知事 新井純様からご祝辞をいただき、引き続いて、近畿計量協議会会長感謝状が、近畿計量協議会副会長で一般社団法人兵庫県計量協会会長の川西勝三様から、大阪医薬品協会の肥田祐慈様はじめ5名の方に贈られました。

基調講演では、株式会社日本計量新報社 代表取締役社長の横田俊英様から大会の基本テーマである「計量制度の未来と計量協会の果たすべき役割」について、計量制度とはどのようなものか、計量制度が社会に果たす役割など色々な視点からお話をいただきました。

次の記念講演では、大阪府立弥生文化博物館 総括学芸員の中尾智行様から、2012年に大阪府の亀井遺跡出土資料から発見された弥生分銅について、「弥生分銅ー国内最古の分銅と、古代ユーラシアの計量資料ー」と題して、弥生分銅の紹介と国内・国外の古代計量資料についてお話をいただきました。

引き続いて、株式会社村上衡器製作所 代表取締役の村上昇様から、「弥生分銅ー弥生時代の分銅の精密質量測定ー」と題して、その質量測定の技術的な内容等についてお話をいただきました。

また、本会にあたっては、特別に「弥生分銅」の実物を展示していただきました。

その後開かれた懇親会では、アトラクションとして「ギネス認定の世界最大のたい焼き」を焼き、焼きあがったたい焼きの記念撮影や試食を行うなど、盛況のうちに今年の近畿計量大会も閉会となりました。

平成28年度 近畿計量大会



主催者挨拶をする藤田理事長



来賓挨拶の吉岡計量行政室長



来賓挨拶の新井大阪府副知事



感謝状を授与される肥田祐慈様



講演中の横田俊英様



講演中の中尾智行様



講演中の村上昇様



弥生分銅